

第1回 四万十町 地域イノベーター養成講座

ビジュアルレポート

実施概要

- 実施名称 第1回四万十町地域イノベーター養成講座「自分がやりたいことを思い描こう」
- 日 時 2017年6月25日（日）
- 会 場 四万十町役場
- 主 催 四万十町役場人材育成推進センター
- 実施内容 「地域のために何かしたい」「起業をしてみたいけど、まだ勇気がない」「何をして良いのかわからない」そういった方々を対象に全6回の地域イノベーター養成講座を開催。
一人一人が自分ごととして、地域課題解決や活性化を目指す「チャレンジする人材」の学びの場。

プログラム

11:00	主催者挨拶	13:00	マイプロワーク
11:20	チェックイン	14:45	チェックアウト
11:35	アイスブレイク		次回までの課題、進め方の説明
12:00	お昼ご飯		

オープニング&チェックイン

初日は、開会挨拶と自己紹介等のチェックインを行ったのち、プログラムに沿った進行が行われた。四万十町人材育成推進センター所長の山脇光章氏から開会の挨拶があった後、高知大学地域協働学部講師須藤順から本講座の趣旨や場のルール等について説明を行った。



横山氏による司会進行



山脇氏からの挨拶



チェックインの様子



趣旨説明

**1人ひとりが自分事として、
地域課題解決や活性化を目指す
「チャレンジする人材」の学びの場**

- ① 一人ひとりが自分の経験の中から、自分自身のミッション（使命）を見つけ出す
- ② “ジブンゴト”で取り組むことができるプロジェクトを自分自身で生み出す
- ③ ジブンゴトのプロジェクト（マイプロジェクト）に取り組む仲間同士がともに切磋琢磨しながらも支え合う関係を創る

- 1 安心・安全の場をみんなで創ろう
- 2 ありのままの自分を素直に出そう
- 3 仲間・プロジェクトを評価しない
- 4 プロジェクトは変わってOK
- 5 お互いに貢献し合う

オリエンテーション&チェックイン：講座のゴールと今日の意気込みを共有

インプットワーク：講師やゲストからの話題提供&基礎知識の紹介

マイプロジェクトワーク：マイプロジェクトシートを使って対話&発表

アクション設定ワーク：次回までの各自のアクションの設定

まとめ：講座のまとめと次回までの課題の共有

※講師やゲスト、メンターが主役ではなく、参加する皆さん自身が学び合い、支え合うことを重視して進めていきます！

※もちろん必要に応じてインプットや知識は提供しますが、何よりもアクションを重視しましょう！

マイプロ Me編	名前 (ニックネーム、読んでほしい名前、その由来)	作成日： 場所：
似顔絵・写真	みんなが知らない自己紹介	
自分ストーリー 昔 (～小学校)	人生グラフ：横軸は年で、縦軸はイキキ度(幸せ度)。人生で輝いていた時、沈んでいた時を見る化しよう！	みんなが知らない自慢・一発芸・得意技
(～中学・高校)		
(～専門・大学)		
(～現在)		
今		
マイプロジェクトの源泉へ		

← me編シート

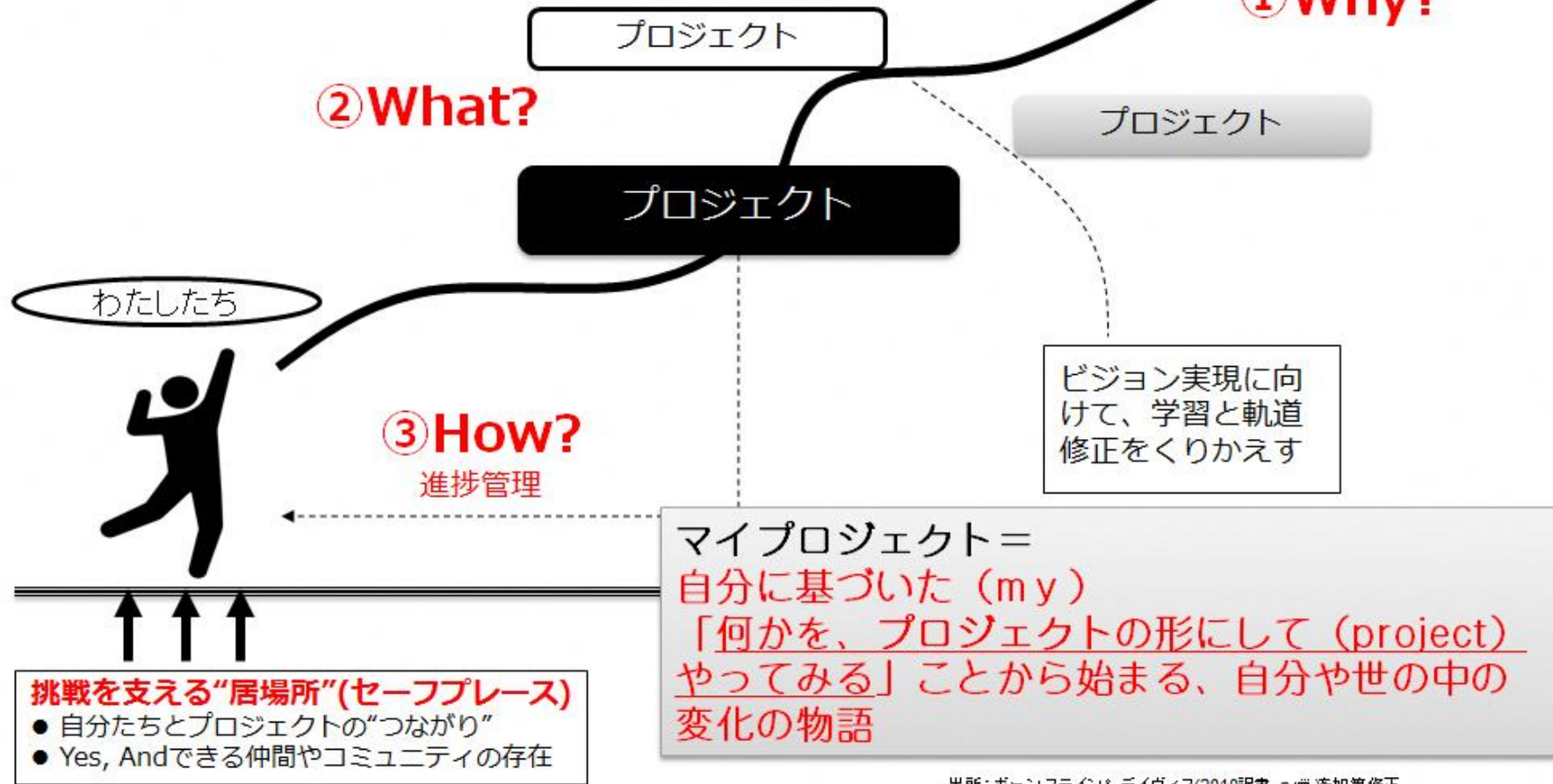
- ・自分のライフヒストリーや好きだったこと、楽しかったこと、つらかったことなど
- ・自分の人生をグラフにしてみる
- ・普段見せない自己紹介

project編シート→

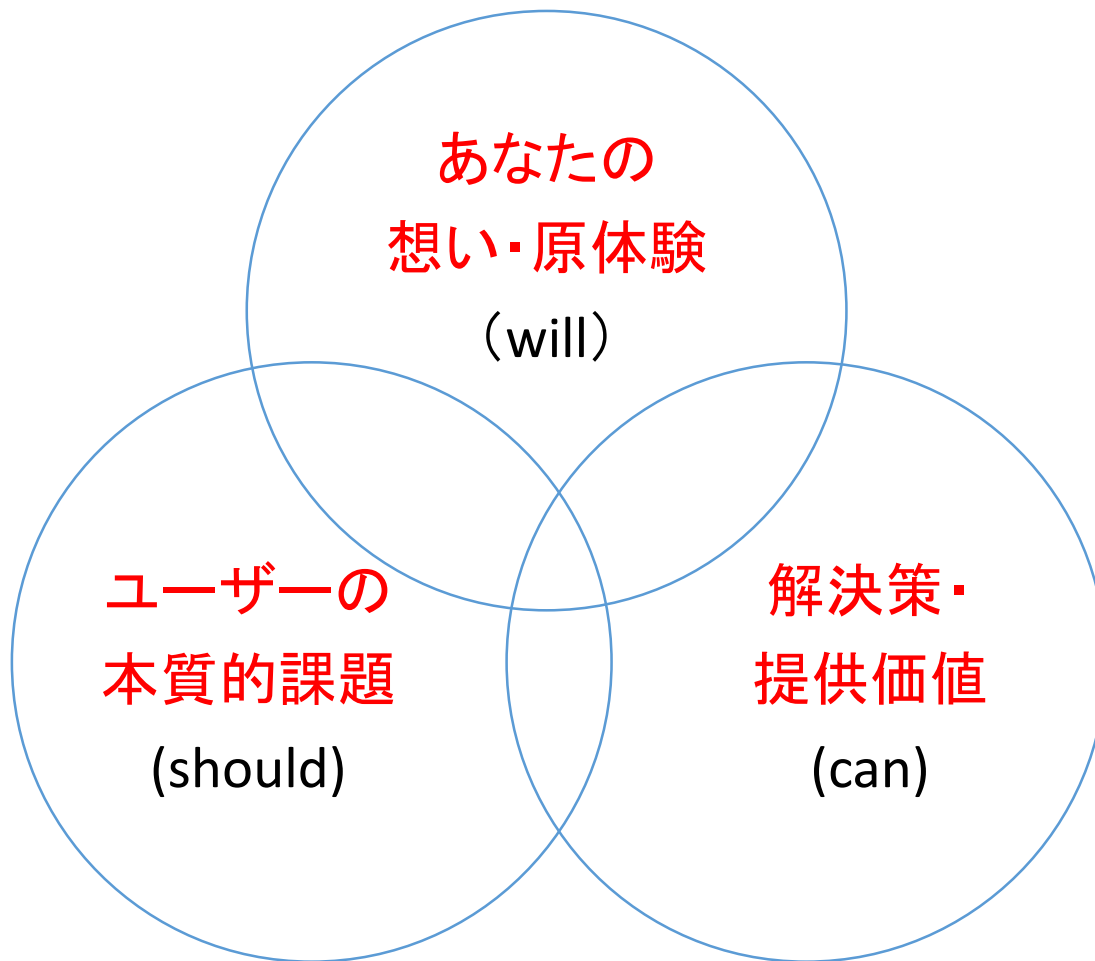
- ・自分と紐づいたプロジェクトを書き出す
- ・それは誰にどんな価値を生み出すのか

PROJECT編	
わたしのプロジェクト(マイプロジェクト)を一言で！	
■実践したいプロジェクトの概要	
↑ ↓	
■「やってみたい！」と思った、理由や背景、原体験	■「誰」にどんな価値を生み出しますか？

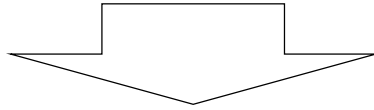
- ① **Why** : どんな「わたし」が何を夢描いているのか？
- ② **What** : それを実現する、何をするプロジェクトなのか？
- ③ **How** : プロジェクトを進めるため、進捗を管理しよう



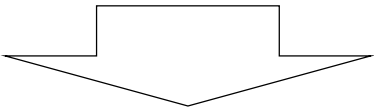
出所: ボーンステイン& デイヴィス(2010)訳書, p.111 添加筆修正
※井上英之作成



STEP1: “My Story” → “It’s me ”



STEP2: 「共に」 一歩踏み出す



STEP3: 仲間として支え合う

変化歓迎・失敗歓迎・立ち止まり歓迎

プロジェクトの成功より、

一人一人が自分の人生を生きているかどうか？

アイスブレイク

須藤のファシリテートの元、アイスブレイクとしてレゴブロックを使った自己理解ワークを実施。レゴで「本当の私」を形作り、それをチームで共有することで自然な自己理解や自分でも気づいていない自分を発見することでお互いへの深い理解を図った。



レゴシリアスプレイの様子



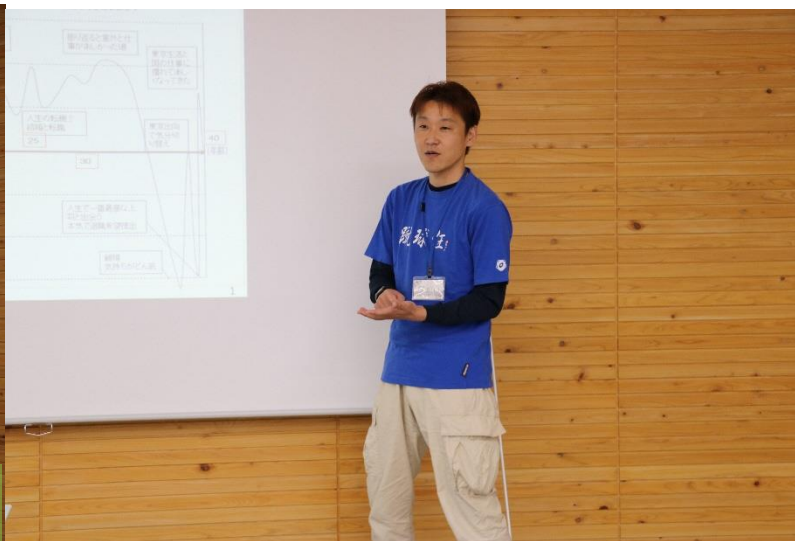
発表の様子

マイプロワーク

事前に記入してきたマイプロシートMe編、Project編を1人10分、発表。それについて受講生やメンター全員でフィードバックを行った。なお、受講生だけではなく、講師や学生メンターも各自のマイプロジェクトを発表し、これから6か月を共にする仲間意識と相互理解を図った。



学生マイプロ発表の様子



マイプロ発表とフィードバックの様子



マイプロジェクトのプロセス



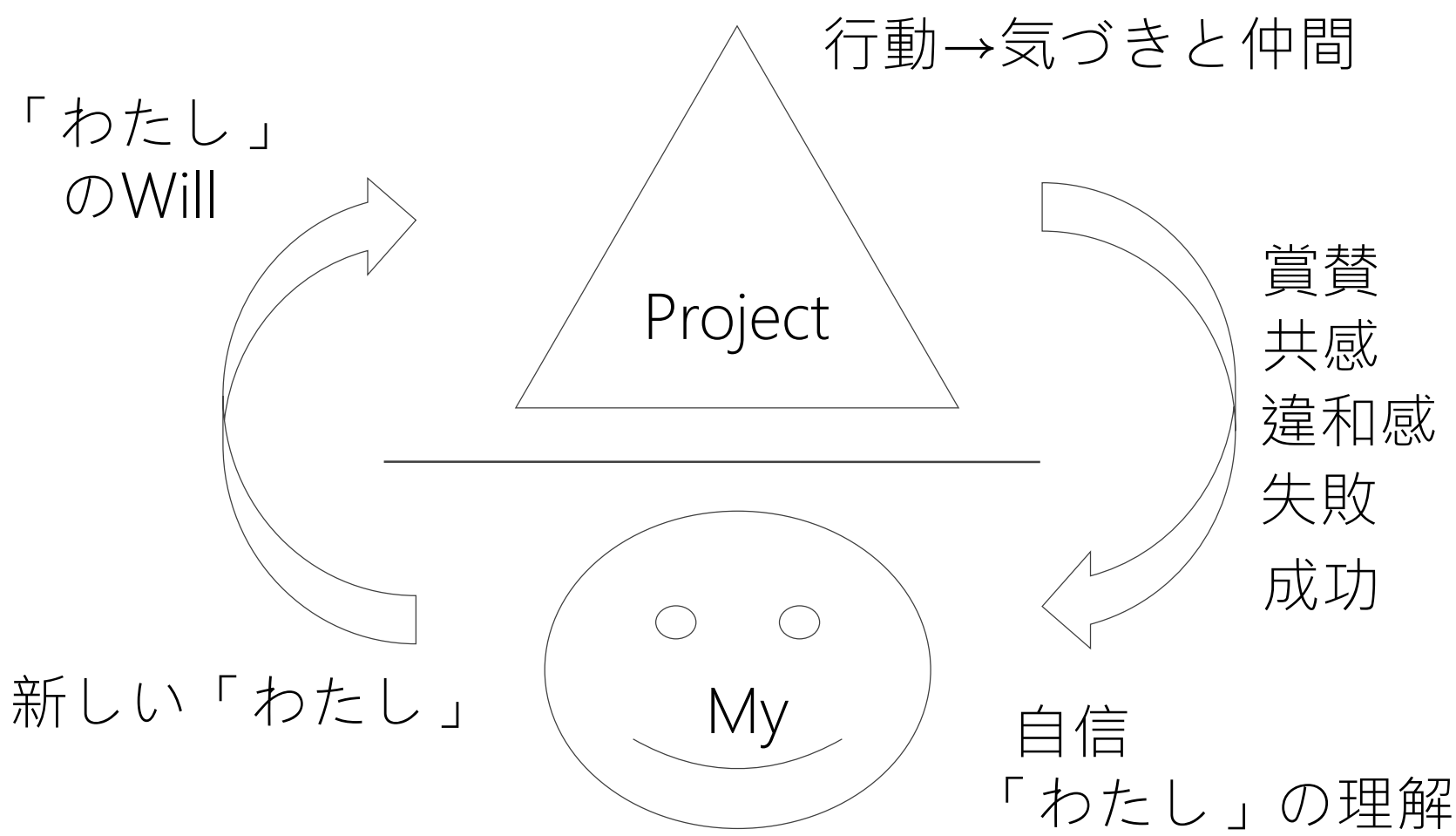
マイプロ発表の様子

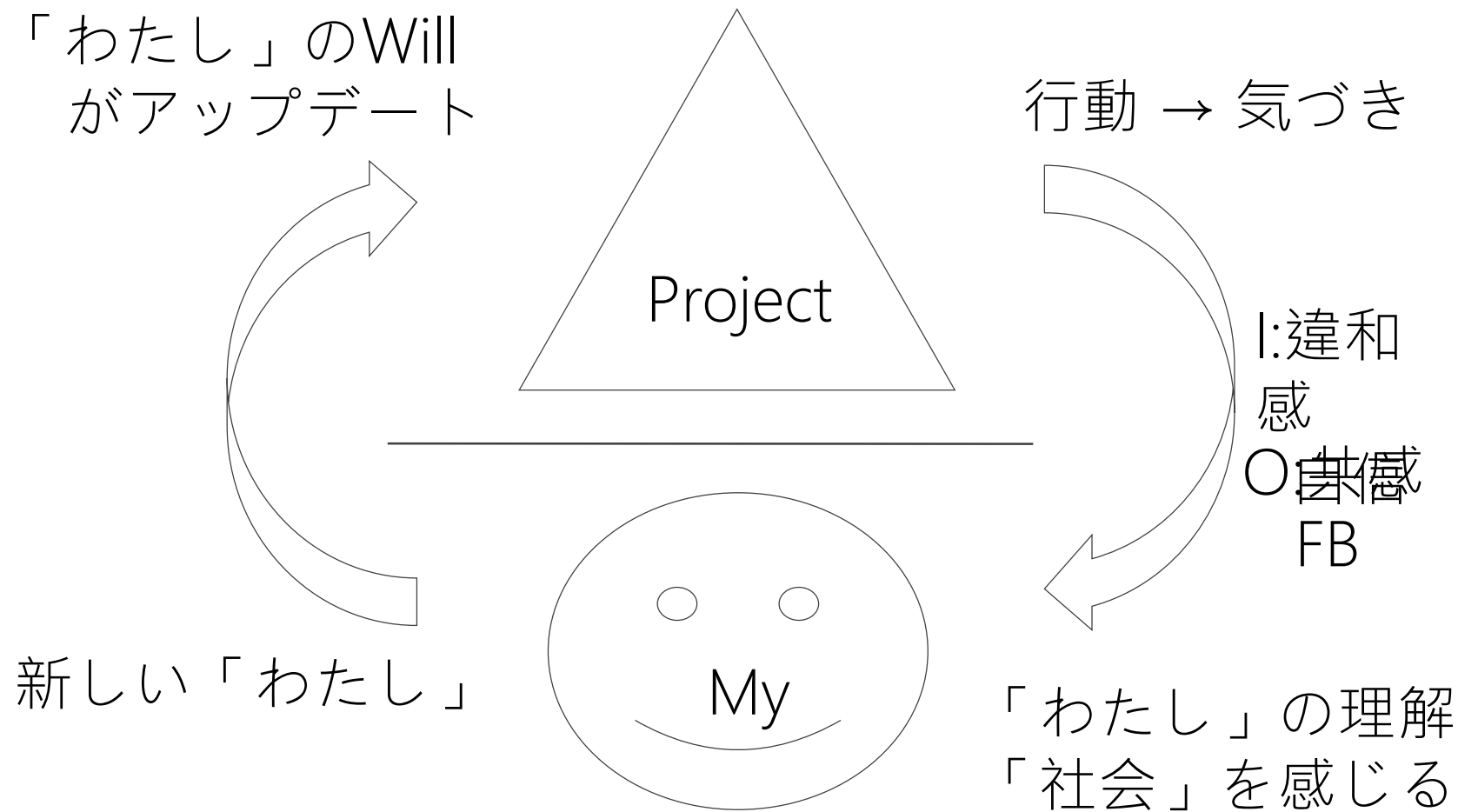
チェックアウト

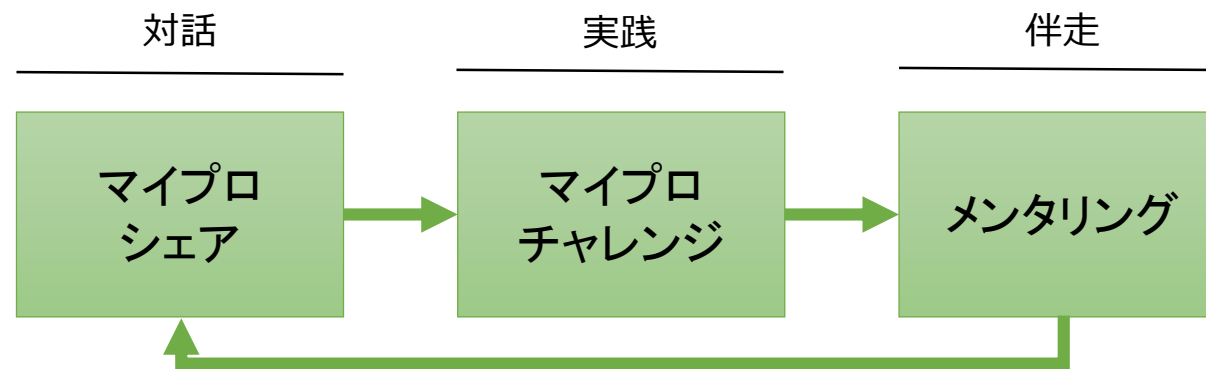
マイプロワーク終了後、須藤よりマイプロについての説明を行い、「一人ひとりがWillを大切に
して地域でプロジェクトを動かすことを目指そう」と改めてこの講座の目指すゴールの共有を図
った。最後に、チェックアウトとして一人ひとりが感想や気づきをシェアし、第1回の講座が終了し
た。



チェックアウトの様子







- 四万十町地域イノベーター養成講座は、誰かが知識や方法論を教えるのではなく、受講生一人ひとりと大学生メンターと一緒にマイプロジェクトを進め、喜びや悩み、想いを共有しながら一歩ずつ前に進んでいくことを目指します。
- 対話を通じて一人ひとりのマイプロを共有し、一人ひとりが小さな実践を行い、それを受講生と大学生が相互にメンタリングを行いながら、「本当に自分がやりたいこと」に取り組んでいきます。
- こうしたプロセスを通じて「ジブンゴトをミンナゴト」にしていくための一人ひとりに法則を見つけ出していきます。
- 地域にイノベーションを起こすためには知識や方法論、メソッドはもちろん、本当に自分がやりたいこと、気になることを、仲間とともに小さな一歩を進めることから始まる、というのが私たちの基本的な考えとして講座を進めていきます。

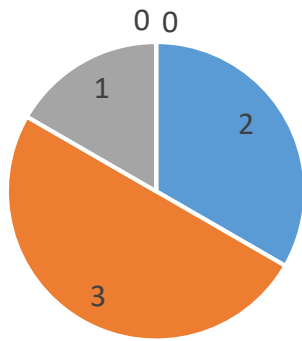
Q.感じたこと、気づいたこと、思ったことは何ですか？

- ・なんか新鮮な感じがした
- ・思いが同じ部分の多さに驚き
- ・受講生と交流できてよかった
- ・自分の考えや思いを人前で発表できてよかった
- ・自分の思いを大切にすることが大事だと気づいた
- ・みんな人生深いなと感じた

Q.自分自身のことでも新たに感じたこと、気づいたこと、思ったことは何ですか？

- ・自分だけの狭い世界で物事を考えていると痛感した
- ・「おしゃべりだなあ、私」と改めて実感した
- ・少し自分のやりたい事がわからなくなった
- ・昔を振り返ると、色々と忘れていたことが多かった
- ・発表を聞き感動したことが多くあった
- ・色々なストーリーがあり面白かった

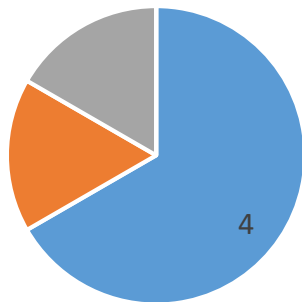
Q.自分のプロジェクトについて、新たな発見はありましたか？



■ とてもそう思う ■ まあそう思う ■ どちらでもない

- ・自分のことを説明する難しさに気づいた
- ・最初の一步は勇気がいる
- ・人の話を重なることがあった
- ・ビジネスを考える上であらゆる視点から考察が必要であること
- ・20年前の取り組みが今でもできるかも
- ・色々考えることから始めていきたい

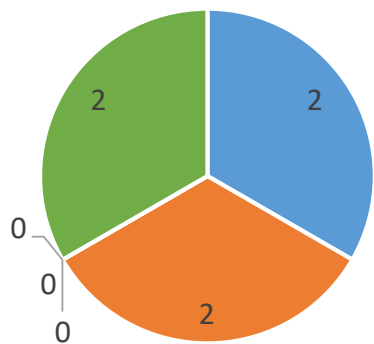
Q.これからの過ごし方やアクションを変えようと思いませんか？



■ とてもそう思う ■ まあそう思う ■ どちらでもない

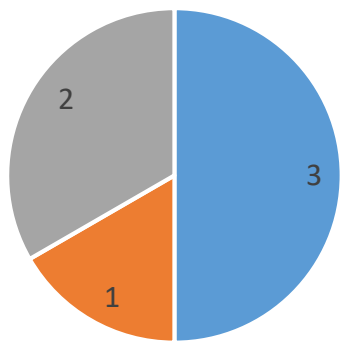
- ・深く根を張ること
- ・実際に四万十町に来た人の行動に注目してみる
- ・共感を得た部分は嬉しい

Q.満足度はいかがですか？



- とても満足
- 満足
- どちらでもない
- 不満
- とても不満
- 無回答

Q.性別を教えてください



- 男性
- 女性
- 無回答

第1回 6月25日(日) 「自分がやりたい事を思い描こう！」

自分が大切にしたいことや価値観と向き合いながら、やりたい事を描いていきます。

第2回 7月23日(日) 「自分のプロジェクトを考えよう！」

自分と地域との関係を明らかにしながらプロジェクトを考えます。

第3回 8月30日(日) 「自分のアイデアを形にしよう！」

自分のプロジェクトを形にし、地域が抱える課題の解決に向けたビジョンを描きます。

第4回 10月22日(日) 「実現に向けてアクションを起こそう！」

プロジェクト実現に向けて、小さなアクションを起こし、得られた気づきを活かします。

第5回 11月26日(日) 「自分のプロジェクトを磨き上げよう！」

現場や先輩を訪ね、その思いを受け止めながら、プロジェクトを磨き上げます。

第6回 12月17日(日) 「自分のプロジェクトを発表しよう！」

自分のプロジェクトをみんなに発表します。